

令和 2 年 度

**事 業 報 告 書**

社会福祉法人

猪名川町社会福祉協議会

# 目 次

I	総括	1 ページ
II	諸活動報告	
1	地域福祉活動	2～3 ページ
2	ボランティア活動	4～7 ページ
3	生活支援サービス活動	7 ページ
4	児童家庭福祉（エンゼル）活動	8 ページ
5	障害者福祉活動	8～15 ページ
6	高齢者福祉活動	15～24 ページ
7	福祉学習（教育）啓発活動	24～27 ページ
8	調査・情報活動	27～28 ページ
9	組織基盤づくり活動	28～31 ページ
10	団体支援活動	31 ページ
11	町指定管理事業	32～33 ページ
12	諸会議	33～36 ページ
III	役員の状況	37 ページ

## 令和2年度 猪名川町社会福祉協議会 事業報告

### I 総括

令和2年度は5か年にわたる第7次猪名川町地域福祉推進計画の1年目として「みんなでつくる安心して暮らせるまちづくり」を福祉目標に、「人の輪づくり」「きっかけづくり」「情報の発信と受信」「社協づくり」の4つの推進目標を掲げ、スタートを切りました。しかし今年度は新型コロナの影響により当初計画していた事業や活動が軒並み中止、制限される結果となりました。ただコロナ禍においても換気、アルコール手指消毒、アクリル板の設置、ソーシャルディスタンス、インターネットを活用したリモートでの会議など感染予防対策を講じつつ、工夫しながらイベントや活動等開催するケースもありました。引き続き次年度においても町や関係団体と連携を図りながら、感染予防対策に努め事業・活動を継続していきます。

地域福祉活動においては、特に福祉委員会活動がコロナ禍の影響を受け、校区の活動やサロンなど制限されてしまいましたが、情報提供や相談支援など、連携に努めました。日常生活自立支援事業では町社協がより主体的に関わることとなり、また追加で支援するケースが増えました。生活福祉資金ではコロナ禍の影響で収入が減少した世帯に対し、緊急小口資金や総合支援資金の特例貸付の対応など例年になく多くの相談に対応しました。

ボランティア活動センターでもコロナ禍の影響を受ける中、災害ボランティア養成講座や初めて災害ボランティアセンターの運営訓練などを実施。またコロナ禍で施設ボランティア活動は、受入れが難しい中、町内の学生と高齢者がお手紙を通して交流できる活動を実施し、多くの交流が芽生えました。

一方、地域包括支援センターや障害者相談支援センターなどの相談支援事業については、複合的な課題のある世帯や認知症、ひきこもりなど幅広いケースに対応しながら関係機関、専門機関、民生委員・児童委員、行政などと連携を図りつつ課題解決に向け相談支援を行いました。

自主事業では障害者多機能型事業所「希望の家すばる」においても、感染予防対策を講じつつ、個々の事情に合わせて柔軟にサービス提供（在宅支援・短時間利用等）を行うとともに支援を継続し、利用減を最小限にとどめることができ、前年より増収となりました。介護保険事業においても、通所介護・訪問介護ともコロナ禍の影響により利用者が減少する月もありましたが、出来る限り利用者を受け入れたこと、体調不良等での欠席が少なかったこと、処遇改善加算の加算率を上げたこともあり昨年度に比べると増収となりました。

法人全体の事業収支では、令和2年度は収入総額417,893,581円(対前年度比102.4%)、支出総額394,321,629円(対前年度98.3%)となり、収支差額23,571,952円(対前年度339.0%)の黒字となりました。

以下、ここに令和2年度における本協議会の諸活動についてご報告致します。

## II 諸活動報告

### 1 地域福祉活動

#### (1) 小地域福祉（福祉委員）活動

福祉委員制度は、各地域での福祉活動推進のために設置されており、福祉委員活動の支援や連携を取りながら、地域のつながりづくりや地域ニーズの把握に努めました。年度を通じて新型コロナの影響が大きく、多くの活動が縮小や自粛となりました。

##### ①福祉委員会全体会及び役員会の開催（全体会2回、役員会4回）

全体会として福祉委員の役割についての講座や福祉に関する講演会を実施し、役員会では、全体で実施する活動についての協議などを行いました。コロナ禍のため、第1回役員会および全体会は書面表決での開催となりました。

##### ②猪名川町 SOS ネットワークの協力

地域での見守り体制の構築に向けて、地域の関係団体等と協議を行いました。

##### ③校区福祉委員活動として認知症サポーター養成講座を実施

認知症の方への理解を深めるために、養成講座や行方不明者捜索訓練を計画していましたが、コロナ禍のため中止となりました。

##### ④民生委員・児童委員と連携し、地域の見守り等の実施

定期的に地区・校区で交流会を実施し、顔の見える関係づくりに努めました。

##### ⑤健康福祉まつりへの参加・活動PR

地域での居場所づくりの手法についての紹介や、舞台での活動PRを予定していましたが、コロナ禍のため、まつりが中止となりました。

##### ⑥社協事業等への参加

社協会員会費や赤い羽根共同募金運動などにおいて、例年、募金の依頼などを行っていましたが、コロナ禍のため参加自粛となりました。

#### 校区・地区ごとの主な活動内容

地区（校区）	主な活動内容
内馬場・伏見台地区	地区福祉委員会定例会、チェアトレ等
原・松尾台地区	民生委員・児童委員・地域包括との交流会等
阿古谷地区	ふれあい交流会（環境美化作業、秋祭り、グラウンドゴルフ、健康講座等）等
猪名川小校区	「若葉いこいの家」の運営ボランティア、健康教室、むつみ会活動支援、秋祭り等
つつじが丘小校区	いこいの会、健康体操、カフェサンテ（写経）等
白金小校区	広報誌発行、ほっとサロン絆、研修会（施設見学）、「善意の傘」の点検修理等
楊津小校区	校区定例会、地区ごとの活動等
大島小校区	各地区でのサロン活動や戸別訪問等

※コロナ禍のため、多くの活動は自粛や中止となりました

## (2) ふれあい弁当サービス

ひとり暮らし高齢者及び高齢者夫婦世帯等を対象に、安否確認や食生活充実を目的として、毎週水曜日に昼食（利用料金は1食500円）を配食しました。

本年度は、新型コロナウイルス感染拡大に伴う緊急事態宣言等により4月から7月中旬まで事業を休止、利用者の体調不良や入院等も重なり、実績は昨年度より大幅に減少しました。しかし、事業の目的の安否確認のため休止期間中においても電話での安否確認を実施し休止期間中の安否確認実績としては延べ352件となりました。

月別配食実績表

(単位：食)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
令和2年度	-	-	-	60	89	119	90	104	109	115	133	164	983
1回あたりの平均配食数	-	-	-	30	29	24	23	26	27	29	33	32	28
令和元年度	128	124	121	158	96	122	153	125	126	131	117	58	1,459
1回あたりの平均配食数	32	31	30	31	32	31	30	31	31	32	29	29	31

## (3) 日常生活自立支援事業

判断能力が十分でない方（認知症高齢者・知的障がい者など）が安心して、暮らしていけるよう福祉サービスの利用援助や日常生活の金銭管理等、自立生活への支援を行いました。本年度においては、ケアマネジャーや相談支援専門員等の関係者と連携を図りながら支援を行うことが多く延べ相談援助件数は73件。事業活動については、社協だより（令和2年8月号）にてPR啓発を行いました。生活支援員による支援業務については、令和3年3月より新たに3件（認知症高齢者2件 精神障害者1件）の支援が始まりました。

## (4) 福祉相談マネジメント活動事業

生活福祉資金の貸付事業と自立相談支援事業との関係強化に取り組みました。各種相談事業や民生委員・児童委員、地域関係者との連携を図りながら生活困窮者に対して包括的支援ネットワークづくりに取り組みました。

### ①生活福祉資金の相談・貸付

低所得者世帯等に対し、資金の貸付と必要な相談支援を行うことにより、その経済的自立及び生活意欲の助長促進並びに在宅福祉及び社会参加の促進を図り、安定した生活を送れるようにすることを目的として事業を実施しました。本年度は、新型コロナの影響で収入の減少があった世帯を対象とした特例貸付に関する相談が非常に多くあり、延べ538件の相談・支援を行い、特例貸付275件、教育支援資金2件が貸付に至りました。また、緊急小口資金・総合支援資金貸付世帯113件へのアンケート調査を行い、地域の生活課題を見出す取り組みを行い、生活困窮世帯に対して、歳末助け合い募金を財源とした見舞金や食料支援を行いました。

②自立支援に向けて関係機関との連携

生活福祉資金貸付に至らないケースはワーカーズコープ、県民局、民生委員・児童委員、福祉課などと随時連携を行いました。また、8050 問題などのひきこもり支援について学ぶため、豊中市社会福祉協議会の勝部麗子氏を講師に招いての専門職向けの講演会をリモートで開催し、関係機関等から多くの参加がありました。近年、問題となっている 8050 問題への関心の高さがうかがえる結果となりました。

開催日：12月15日（火）14：00～16：00
会場：オンライン（リモート）
内容：「ひきこもり支援～豊中市社協での取り組みと近隣地域への思い」
講師：勝部 麗子氏（豊中市社会福祉協議会 福祉推進室長）
参加者：64名（21事業所）

③心配ごと相談

民生委員児童委員協議会に委託して実施しており、総合福祉センター、ふらっと六瀬及び日生公民館において、原則月3回、火曜日の午前10時から12時まで民生委員・児童委員が輪番で相談を受けつけています。本年度の相談件数は3件でした。（令和元年度実績：3件）

2 ボランティア活動

ボランティア活動センターの運営事業

ボランティア活動の場の提供やコーディネート、情報提供等を通じ、より多くの住民がボランティア活動を通して地域社会の関わる「きっかけづくり」活動を進め、福祉向上を目的に実施しました。

①ボランティアに関する相談受付、コーディネート連絡調整

相談受付処理状況

(単位：件)

内容	ボランティア活動希望	ボランティアの依頼	人材に関する相談	資機材に関する相談	資金に関する相談	組織運営に関する相談	事業運営に関する相談	その他	令和2年度実績	令和元年度実績
一般住民	24	0	0	0	1	0	0	4	29	38
ボランティア・市民活動団体	8	0	3	21	12	4	0	68	116	134
福祉施設・病院	0	186 (228)	0	0	0	0	0	3	189	791
行政機関	0	24 (60)	2	2	0	0	0	10	38	43

社協	0	229 (1426)	0	0	0	0	0	2	231	207
福祉団体	0	0	0	1	0	0	0	2	3	10
学校・教育機関	3	0	32	11	5	0	0	14	65	55
その他	0	12 (41)	0	0	0	0	0	1	13	11
合 計	35	451	37	35	18	4	0	104	684	1,289

( )の人数=相談・依頼に対して活動したボランティア人数

ボランティア活動延べ人数 1,755名 (令和元年度実績 2,948名)

#### ボランティア活動内容

一般住民	ボランティア活動の希望
福祉施設・病院	話相手(傾聴)、活動や作業の手伝い、レクリエーションボランティア等
行政機関	音訳CD作成、託児等
社協	ふれあい弁当サービスの調理及び配食、声の広報CD作り、「おもちゃ図書館」手作りおもちゃ作り、福祉学習のお手伝い、登録ボランティアグループの活動依頼等、個人利用者宅の活動
福祉団体	視覚障がい者に関する情報発信等
学校・教育機関	点字の学習、聴覚障害の学習、認知症サポーター養成講座、福祉講演会の講師の相談、福祉学習機材の貸し出し等

#### ②ボランティアに関する情報提供・啓発

##### ア ボランティアの啓発

例年実施される「健康福祉まつり」が新型コロナの影響により中止となりました。社協だよりに登録ボランティアグループの紹介を掲載し、ボランティア紹介の機会としました。新型コロナウイルスの影響により休止月もありましたが、イオンモール猪名川店で、傾聴ボランティア「みみい～な」による傾聴ボランティア紹介は継続し実施しました。また、猪名川イオンチラシ設置台を活用しボランティアグループの紹介チラシを設置するなど、啓発に努めました。

##### イ 啓発用冊子等の作成・配布

ボランティアに関心のある方、初めて活動をする方に、わかりやすい啓発リーフレット「笑顔いっぱいボランティア活動」や、ボランティア・福祉学習の詳細を記載した啓発冊子「レッツトライボランティア」を配布。主に学校での福祉学習体験時に配布し、啓発に努めました。また、「ふれあい伝言板」を活用して情報発信に努めました。

#### ③機材貸出

町内施設やボランティアグループなどへ、機材の貸出を行いました。聴覚障がい者が参加する講演会などには、ヒヤリンググループ、ボランティア団体のイベントで使用するプロジェクターなどの貸出を行いました。

#### ④ボランティアグループ助成

住民の社会福祉活動への主体的な参加を促進し、ボランティア活動の育成、及び活性化を図ることを目的にボランティアグループに対して活動経費の一部を助成しました。登録ボランティアグループ 9 団体からの申請に基づき適正に助成金交付を行い、各グループが特性に応じた活動を住民に実施されました。

⑤兵庫県ボランティア・市民活動共済

本年度の件数は 73 件、加入者数は 1,207 名でした。(令和元年度 137 件・1,423 名) その内、「天災危険補償プラン」の取扱い件数は、学校支援ボランティア団体が加入されており、11 件、加入者数は 475 名となりました。

⑥ボランティア活動センター運営委員会・ボランティアグループ連絡会

ア 猪名川町ボランティア活動センター運営委員会

ボランティア活動センターの円滑な運営を図るために、運営委員会を設け 6 名の委員(ボランティア関係 2 名・福祉委員・当事者団体・関係行政機関・社協理事)で構成。9 月・2 月に開催しボランティア活動センターの事業について協議しました。

イ ボランティアグループ連絡会

社協登録ボランティアグループの代表者により、ボランティア活動に関する連絡調整・助成金申請に係る説明を行いました。第 1 回目は、新型コロナウイルス感染拡大防止対応のため中止し書面送付。第 2 回目には、ボランティア交流会を兼ね開催。第 3 回目は、助成金報告の説明などを行いました。

⑦災害ボランティアセンター運営

災害ボランティアセンター運営マニュアルに基づき、マニュアルの検証も兼ね常勤職員の参加により災害ボランティアセンター運営訓練とし、同センター運営側と駆けつけボランティア側に分かれ模擬訓練を実施しました。

⑧ボランティア養成講座

「第 7 次地域福祉推進計画」に基づき、住民が参加しやすい講座の開催を目指しました。「災害ボランティア養成講座」をはじめ、開催日時の設定を工夫し、町内事業所へポスターやチラシを配布・いなぼうネットの掲載など PR・啓発を行いました。また、講座の様子を社協だよりに掲載するなど地域住民に興味を持って参加できるボランティア講座の企画に努めボランティア活動の担い手の育成に努めました。

	講座名	開催日 (期間)	開催場所	講師名	参加者数 (令和元年度実績)
1	サマーボランティア活動(お手紙ボランティア)	7 月 1 日(水)～ 8 月 31 日(月)	例年の施設などでの活動は、新型コロナウイルスの影響で施設関係の受け入れが難しい状況で、学生から発信し町内の高齢者とお手紙交流を実施。		学生 18 名 対象者町内の 高齢者 18 名 (43 名・119 名)
2	手話奉仕員養成講習会(入門編)	10 月 21 日～ 3 月 10 日	総合福祉(ゆうあい)センター	・町ろうあ協会 ・手話サークル	19 名・延べ 280 名



	講座名	開催日 (期間)	開催場所	講師名	参加者数 (令和元年度実績)
		毎週水曜日 計 20 回		マジック	(12 名・218 名)
3	災害ボランティア養成講座	2 月 27 日(土)	総合福祉(ゆうあい)センター	兵庫県立大学 大学院 減災 復興政策研究 科 教授 阪本 真由美氏	19 名 (27 名)
4	災害登録ボランティア交流会	9 月 11 日(金)	総合福祉(ゆうあい)センター	兵庫県広域防 災センター 防災教育専門 員 田中健一 氏	18 名 (14 名)
5	傾聴ボランティア講座	11 月 17 日(火)	猪名川町文化 体育館 総合 室	アクティブ リッスン代表・ 心理カウンセ ラー 澤村直 樹氏	36 名
6	要約筆記啓発講座	10 月 11 日(日)  11 月 12 日(木)	日生公民館 大集会室  総合福祉(ゆう あい)センター	・認定補聴器専 門技能士 中川 良雄氏 ・兵庫県難聴者 福祉協会 理事長 増田 雅博氏	15 名 14 名 延べ 29 名 (39 名・延べ 101 名)
7	ボランティアきっかけ講座	6 月 12 日・19 日・26 日 毎金曜日 (計 3 回)	開催予定で計画していたが、新型 コロナウイルスの影響で中止。		(26 名・延べ 54 名)
8	ボランティア交流会	11 月 6 日(金)	総合福祉(ゆう あい)センター	—	19 名 (19 名)

### 3 生活支援サービス活動

#### 福祉用具貸出・相談活動事業

平成 5 年度より、町内在住で福祉用具を必要とする方に、善意銀行に寄付があった福祉用具(車イスや歩行器等)を中心に基本 6 か月以内無料(一部物品搬出料の負担あり)で貸出を実施しています。

本年度は、新型コロナウイルス感染拡大に伴う外出自粛により外出目的で使用する車イスや歩行器が昨年度より減少しています。

#### 貸出件数

(単位：件)

貸出用具	車イス	介護用ベッド	ポータブルトイレ	歩行器	その他(杖・入浴関連)	合計
令和 2 年度	54	—	24	4	34	116
令和元年度	80	2	16	7	29	134

### 4 児童家庭福祉(エンゼル)活動

## 福祉を育む仲間づくり活動・子ども相談・支援活動

### ① ちびっこボランティア講座

例年、小学生を対象に、障がいのある方やボランティア等とのふれあいを通じて、子ども達が積極的に福祉やボランティアへ関心を持つ契機となることを目的に開催していましたが、町内で新型コロナウイルスの感染があり、盲人野球体験を計画していましたが、中止となりました。

### ②おもちゃ図書館（手作りおもちゃ制作・地域への貸出事業）

ボランティアが制作した手作りおもちゃを、地域の団体や子育て支援グループ・個人への貸出しを行いました。新型コロナウイルス感染拡大に伴い地域における子育て支援グループ等の活動鈍化に伴い昨年度より利用実績は減少しました。

おもちゃ作りのボランティアの協力により、毎月 1 回活動も新型コロナウイルス感染拡大に伴い活動場所の休館により通年での活動ができませんでした。

本年度貸出件数：38 件（令和元年度貸出件数：54 件）

（共同募金の地域配分金を活用しています）

## 5 障害者福祉活動

### （1）啓発活動・団体支援

#### ①イナワイ等の地域交流会啓発活動

平成 24 年度より、障がいのある方との交流や地域における障害者福祉等への啓発を目的として、当事者のエンパワメントを大切にしながら取り組んでいます。昨年度に引続き“音楽”をテーマとし、打楽器「カフォン」の演奏指導を受け、参加者全員で交流を図りました。新型コロナウイルス感染拡大の影響で当初予定が変更となりましたが、感染予防のため一部 WEB など活用し工夫しながら進めました。（一部共同募金の地域配分金を活用しています）

開催日：2月27日（土）・3月14日（日）3月27日（土）10：00～11：30 計3回

場 所：障害者福祉センターおよび教養娯楽室およびリモートでの開催

内 容：打楽器「カフォン」の練習・合奏

講 師：中山 拓人氏

参加者：計 38 名参加

#### ②セルフヘルプグループの活動支援

セルフヘルプグループ（障害関係 4 団体）について、諸活動の協力及び活動支援を実施しました。

ア 身体障害者福祉会

イ 身体障害者父母の会

ウ 手をつなぐ育成会

エ ころ猪名川家族会

### （2）ふれあい交流活動

①ふれあい運動会

障がいのある方とその家族、ボランティアが共にスポーツ・レクリエーションを楽しみながら、仲間や生きがいをづくり、「障がい」の壁を乗り越え、お互い理解を深め合い、社会参加の促進と生活の豊かさを広げることを目的として、開催を予定しましたが、新型コロナウイルスの影響により中止となりました。

②ふれあいバスツアー

障がいのある方とその家族、ボランティア等の方々との交流や仲間づくりを目的に「ふれあいバスツアー」の計画をしましたが、新型コロナウイルスの影響により中止となりました。

③障がい児・者プール教室

障がい児・者がプールでのレクリエーションへの参加機会確保と促進、自立支援及び障がい児・者を地域で支えるきっかけづくりを目的として、障がい児・者を対象としたプール教室を開催しました。

開催日：7月24日・31日、8月7日・14日・21日・28日（いずれも金曜日）
講師：久保 美弥氏 西田 一二美氏 ボランティア：5名
参加者：10名 延べ人数23名（令和元年度 参加者13名 延べ人数33名）

(3) 障害者総合支援法事業

①多機能型事業所「希望の家すばる」運営

ア 就労継続支援 B 型事業

障がいのある方が自立した日常生活または社会生活を営むことを目的として、就労の機会、生産活動やその他の活動機会の提供を通じて、就労に必要な知識及び能力向上のための訓練を行いました。新型コロナの影響で利用を自粛される方もいたが、個々の事情に合わせて柔軟にサービス提供（在宅支援・短時間利用等）を行ったことで利用実績は増加しました。

利用人数・実績（決算書 P27 障害福祉サービス等事業収入）

(単位：人)

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	実績額
令和2年度	実利用者数	17	16	16	18	20	20	19	19	20	20	20	20	3,589	27,635 千円
	延利用者数	254	234	300	329	304	334	326	285	309	281	279	354		
令和元年度	実利用者数	14	15	15	15	16	17	16	16	16	16	16	16	3,122	24,000 千円
	延利用者数	245	241	268	273	251	260	294	291	274	244	219	262		

工賃支給状況

(単位：円)

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月
令和2年度	工賃支給額	200,200	141,000	104,300	93,800	144,500	126,100	103,300
	平均個人支給額	15,400	10,071	7,450	5,862	8,027	7,005	6,076
令和元年度	工賃支給額	148,100	98,300	110,600	160,000	173,300	191,500	191,700
	平均個人支給額	10,633	6,553	7,373	11,429	11,553	12,767	11,981
		11月	12月	1月	2月	3月	合計	
令和2年度	工賃支給額	162,600	175,600	197,500	127,200	97,764	1,673,864	
	平均個人支給額	9,564	9,755	10,972	7,482	19,598	9,771	
令和元年度	工賃支給額	257,000	201,200	134,000	201,100	218,138	2,084,938	
	平均個人支給額	16,062	12,575	9,571	15,469	15,581	11,796	

イ 生活介護事業

障がいのある方が自立した日常生活または社会生活を営むことを目的として、入浴、排せつ及び食事等の生活支援、創作活動やレクリエーション等の日中活動の支援を行いました。

本年度も個々の障がいの特性を理解するための内部研修や事例検討を行うことで提供するサービスの質の向上に取り組みました。利用実績は感染予防対策を講じつつ、サービス提供を継続しましたが、コロナ禍の影響で実績は前年度に比べ減少しました。

利用人数・実績額（決算書 P27 障害福祉サービス等事業収入）

(単位：人)

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	実績額
令和2年度	実利用者数	24	24	24	24	24	24	24	24	24	24	24	24	55,920 千円	
	延利用者数	284	229	392	416	396	417	417	398	392	356	350	437		4,484
令和元年度	実利用者数	22	22	22	22	22	22	22	23	23	23	23	23	58,038 千円	
	延利用者数	399	379	387	420	367	365	412	403	393	370	372	422		4,689

② 障害者ホームヘルプサービス事業（居宅介護・重度訪問介護）

障がい（身体・知的・精神）があるため、日常生活を営むことに支障がある障がい者の自宅にヘルパーが訪問し、身体介護（身の回りの支援、食事、入浴、排泄等の介助・介護）、家事援助（調理、洗濯、掃除、買物等の必要な家事）、相談・助言・その他（生活・介護に関する相談）サービスを実施しました。介護保険サービスへ移行した方もあり、延利用者数は減少していますが、本年度より処遇改善加算を取得しことで増収となりました。支援については、家族、相談支援センターや行政等、関係機関と連携を図りながら、個々の障がいに応じた細やかな支援に努めました。

利用人数・実績額（決算書 P27 障害福祉サービス等事業収入）

（単位：人・件）

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	実績額
令和2年度	実利用者数	9	10	10	11	7	8	10	10	9	11	10	10		4,404 千円
	延利用者数	100	111	106	112	82	70	68	67	59	72	67	77	991	
令和元年度	実利用者数	8	11	9	9	9	9	9	11	10	13	11	9		4,360 千円
	延利用者数	89	108	95	111	93	103	99	103	89	99	94	90	1,173	

③地域活動支援センター事業

町内在住の障がい（精神疾患）のある方を対象に、地域の中で自分らしく暮らすことを目的として創作活動プログラムや社会との交流促進プログラムを提供しました。

利用目的としては、一般就労や就労系事業所にステップアップするための生活リズムを整えるため、日中時間を安心して過ごすための居場所として、社会参加の第一歩として他者と交流を図るためなど様々でしたが、それぞれにとって必要な場所となりました。

利用者数としては、新型コロナウイルスの感染予防の為の緊急事態宣言が発令されたことから利用を自粛する方、就労へステップアップする方もあり、昨年度より減少しました。

利用人数

（単位：人）

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
令和2年度	実利用者数	10	8	13	13	12	12	15	12	11	10	12	13	
	延利用者数	39	22	80	75	76	90	74	53	64	53	75	94	795
令和元年度	実利用者数	11	11	12	10	9	13	13	13	12	16	12	12	
	延利用者数	122	92	105	122	102	104	126	125	94	102	93	116	1,303

#### (4) 地域生活支援事業

##### ①障害者療育支援事業

運動面や情緒・知的面などの発達遅れが心配される児童を対象として、基本的な生活習慣の獲得や社会性の発達、運動機能の維持・向上などを目的とした事業です。障がいのある児童の健全育成の一助として、理学療法、作業療法、言語療法訓練について、専門機関から訓練士の派遣を受けて実施しました。

今年度は新型コロナウイルスの感染拡大により緊急事態宣言が発出され、休校や不要不急の外出自粛のために4月から5月の利用者数が激減しました。緊急事態宣言解除後6月以降は、利用者数も昨年度と同程度まで回復しました。また利用者の平均年齢の上昇傾向がみられ、15時以降の待機数が増加しました。

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
令和2年度	実利用者数	24	39	44	50	50	46	47	49	51	43	48	50	897
	延利用者数	37	59	89	88	66	85	87	81	79	63	78	85	
令和1年度	実利用者数	55	48	51	51	54	52	56	54	56	51	47	56	1003
	延利用者数	85	72	87	87	75	86	94	94	81	78	75	89	

##### ②日中一時支援事業

障がいのある方に、一時的な日中活動の場を確保し、家族の就労支援や介護者の一時的な休息を目的に、必要な生活支援サービスを提供しました。本年度は、様々な利用ニーズに対応すべく受け入れ態勢の強化に取り組んだ結果、昨年度と比較し延べ100件増となりました。

利用人数

(単位:人)

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
令和2年度	実利用者数	5	2	3	4	6	7	7	7	5	6	4	7	451
	延利用者数	33	19	28	36	36	48	47	52	35	35	32	50	
令和元年度	実利用者数	4	5	5	6	4	6	8	6	6	5	5	7	355
	延利用者数	12	16	20	28	29	27	45	31	30	23	32	62	

### ③ 移動支援事業

障がいのある方が、充実した日常生活を営むことができるようガイドヘルパーが付き添い、社会参加に必要な外出時の介助、支援を行いました。ここ数年はガイドヘルパー従事者の確保が難しいですが、できる限りニーズに対応し、利用実績は昨年度より増加しました。

利用状況

(単位:人・日)

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
令和2年度	実利用者数	0	0	4	4	4	4	5	4	4	3	3	4	76
	延利用日数	0	0	7	6	7	9	11	8	9	6	7	6	
令和元年度	実利用者数	4	3	3	3	2	4	3	3	4	3	3	0	52
	延利用日数	5	3	5	5	4	5	5	5	6	6	3	0	

### ④ 音訳・点訳広報紙

声の広報等発行事業

文字による情報入手の困難な視覚障がいのある方に、音訳ボランティア「リヴィエール」、点訳ボランティア「てんてまり」の協力を得て、町広報・社協だより・議会だより・人権いながわ・選挙広報・広報臨時号などの音訳・点訳への編集・発行を行いました。また、本事業のPRチラシ・音訳CDを福祉課の協力のもと視覚障がい者手帳所持者へ発送するなど啓発にも努めました。音訳CDや点訳物は図書館や福祉課等にも配布しています。本年度は、利用者が1名転居され減となりましたが、新たな申込者があり利用者数は、4名。延べ利用回数91回となりました。

(令和元年度の利用者数4名、延べ利用回数94回)

### (5) 相談支援(就労支援)センターの運営事業

障がいのある方が自立した日常生活又は社会生活を営むことを目的に相談支援事業を実施しました。

#### ① 総合相談支援事業

障害者総合支援法の障害者地域生活支援事業における相談支援事業を町より受託し、相談支援(生活支援・就労支援)を実施しました。障がいのある方や、その家族が安心して地域で暮らせるように、様々な相談に応じて、必要な情報の提供や、障害福祉サービスを利用するための支援を行うほか、権利擁護の為に必要な支援を実施しました。継続して相談対応している方たちから新型コロナウイルスの影響で精神的な負担感を訴える相談や新規の児童相談(サービス利用)が増加しました。

種別相談等延べ件数(基本相談)

(単位:件)

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
令和2年度	身体	10	11	10	8	9	12	6	8	13	7	12	4	110
	知的	19	12	9	7	7	9	3	3	5	9	6	16	105
	精神	15	30	33	20	25	13	16	19	36	27	25	21	280
	重症心身	0	2	8	10	1	0	0	0	0	0	0	0	21
	発達	8	18	26	11	5	7	12	13	11	13	29	20	173
	高次能	8	5	4	0	2	0	0	2	1	0	1	3	26
	その他	8	5	12	20	7	13	8	13	13	9	8	11	127
合計		68	83	102	76	56	54	45	58	79	65	81	75	842
令和元年度	身体	7	31	10	10	8	15	5	8	11	11	7	14	137
	知的	5	5	8	8	7	7	15	8	10	11	9	6	99
	精神	4	14	17	19	16	13	14	12	31	26	21	26	213
	重症心身	1	1	0	0	0	1	0	1	1	1	1	4	11
	発達	4	6	9	15	16	6	6	11	15	12	13	22	135
	高次能	0	0	0	0	3	2	2	3	1	1	5	4	21
	その他	8	19	27	20	11	10	11	7	4	12	13	9	151
合計		29	76	71	72	61	54	53	50	73	74	69	85	767

② サービス等利用計画

サービス等利用計画の作成は、福祉サービスを活用し、生活の質を向上させるために作る計画です。障がいのある方（児）が抱える課題の解決や適切なサービス利用に向けた支援を実施しました。また、その計画が利用者本人にとって適切かどうか、新たな課題はないか定期的な評価を行いました。新型コロナの感染拡大防止の為、訪問回数を必要最低限に心がけ対応する中、近隣に就労系・児童系の施設が増えたことにより実利用者が増えました。

支援状況（決算書 P70 障害福祉サービス等事業収入）

（単位：件）

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	実績額
令和2年度	実利用者数	9	34	66	33	51	31	35	32	49	75	42	40	497	9,151千円 (延 2,510件)
令和元年度	実利用者数	36	19	22	17	18	11	32	47	32	32	18	16	300	5,665千円 (延 2,188件)

③ 就労支援業務（就職支援・職場定着支援）



障がいのある方が就労する為の支援や就労が定着する為の支援を実施しました。阪神北障害者就業・生活支援センターやハローワークなどの関係機関と連携しながら就労相談、定着支援を行いました。

#### ④自立支援協議会（専門部会の運営）

猪名川町障害者自立支援協議会の専門部会（生活・就労・教育）事務局として各部会に参加し、障がいのある方（児）が安心して暮らせる町づくりのための課題についての検討を行いました。新型コロナの感染拡大防止の為、専門部会の開催回数が減少し、啓発セミナーは中止になりました。

#### ⑤障害支援区分認定調査

猪名川町から調査依頼を受け、サービスの利用を希望する障がいのある方や家族に対して、障がいや生活の状況などについて調査を行いました。

本年度実績 25 件（令和元年度実績 25 件）

## 6 高齢者福祉活動

### (1) 介護保険事業

#### ①高齢者デイサービス事業

利用者の心身機能の維持や介護者の介護負担の軽減などを目的として、入浴や食事等の支援を日帰りで提供しています。介護予防を目的とした口腔・運動訓練などを行い、新たな利用者の支援につながるよう努めました。本年度は新型コロナウイルスの影響により利用者が減少する月もありましたが、出来る限り利用者を受け入れたこと、体調不良等での欠席が少なかったこと、処遇改善加算の加算率を上げたこともあり昨年度に比べると増収となりました。

利用人数・実績額（決算書 P26 介護保険事業収入）

（単位：人・件）

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	実績額
令和2年度	実利用者数	73	69	76	78	76	72	72	71	68	65	70	73	60,376 千円	
	延利用者数	539	599	651	687	649	667	681	614	542	478	585	690		7,382
令和元年度	実利用者数	72	72	75	73	74	68	70	66	67	67	73	69	52,911 千円	
	延利用者数	608	632	592	628	569	525	585	547	518	532	581	575		6,892

#### ③ 訪問介護事業

要介護者等の在宅生活支援のためホームヘルパーが自宅へ訪問し、食事・入浴・排泄等の支援をする身体介護、掃除、洗濯、調理等の生活援助を行いました。町内居宅介護支援事業所と連絡調整し、利用者の受け入れを可能な限り行いました。本年度は、新型コロナウイルスの影響で利用を控える方も若干おられましたが、処遇改善加算の加算率が上がったこと、

利用者の入院や入所等による影響も少なかったこともあり増収となりました。

利用人数・実績額（決算書 P26 介護保険事業収入）

（単位：人・件）

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	実績額
令和2年度	実利用者数	58	54	55	57	57	59	61	59	57	53	52	57	5,822	19,710 千円
	延利用者数	493	451	525	528	475	490	495	502	481	423	433	526		
令和元年度	実利用者数	64	64	64	64	61	57	55	59	57	57	58	58	5,961	18,696 千円
	延利用者数	547	627	587	629	516	427	451	450	402	398	431	496		

## （2）高齢者生活支援事業

### ①軽度生活援助事業

日常生活で手助けを必要とする高齢者、障がい者を対象に社会との繋がりを持ちながら安心した生活が送れるよう、外出時の援助、食事・食材確保などの軽度の援助サービスを提供しました。また、介護保険制度の支給限度額超過などで介護保険サービスが保険給付外となる方に対して、本事業を利用いただき日常生活支援を実施しました。本年度は、新型コロナウイルスの影響で活動を自粛した期間もあり、昨年度に比べ減収となりました。

利用人数・実績額（決算書 P33 軽度生活援助事業利用料収入）

（単位：人・件）

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	実績額
令和2年度	実利用者数	4	1	7	8	7	9	9	9	7	4	1	6	172	316 千円
	延利用者数	7	1	15	16	17	22	30	32	13	6	1	12		
令和元年度	実利用者数	8	9	7	6	5	4	5	3	4	4	4	4	238	331 千円
	延利用者数	30	39	32	28	27	14	16	9	10	10	11	12		

### ②生きがい活動支援事業

高齢者の生きがいづくり、仲間づくりの支援として猪名川町総合福祉（ゆうあい）センターを中心に運動系・文化系等の教室を開催し、閉じこもり予防の推進に努めました。尚、新型コロナウイルス感染拡大に伴い年3回の開催計画が2回開催となり、また開催においては、ソーシャルディスタンス確保のため参加者数を制限したため参加人数は昨年度より大幅に減少しました。

教室実施一覧表

教室名	実施時期	実施回数	参加者数
リフレッシュ体操教室	7月～9月	10回	17名
水泳教室	7月～9月	11回	6名
バラエティーアクア教室	7月～9月	6回	7名
スポーツ吹き矢教室	7月～9月	6回	14名
季節のパステルアート教室	7月～9月	6回	11名
リフレッシュ体操教室	11月～3月	16回	14名
水泳教室	11月～3月	18回	12名
健康体操教室	11月～3月	9回	10名
己書・筆文字教室	11月～3月	6回	10名
かんたん工作ペーパークラフト教室	11月～3月	5回	9名
計		93回	110名 (延べ788名)

令和元年度 実施回数 94回 参加者数 233名 (延べ1,043名)

### (3) 地域支援事業

#### ①地域包括支援センター事業

高齢者等が住み慣れた地域で安心して過ごすことができるように、包括的および継続的な支援を行う地域包括ケア推進を目的とし実施しました。地域包括ケアシステムを構築し、かつ有効に機能させるために、保健師等、社会福祉士、主任介護支援専門員がその専門知識や技能を互いに活かしながらチームで活動し、地域住民とともに地域のネットワーク構築に取り組みました。

#### ア 総合相談（権利擁護含む）

サービス利用に関する初期相談や、虐待、成年後見制度の相談、複合的な課題（高齢者と障がい者の複合世帯、生活困窮とゴミ問題、認知症と独居、精神疾患等）を抱える相談など、民生委員・児童委員や介護サービス事業者、病院の医療相談員等の多岐にわたる団体・機関から受け付けました。本年度は、コロナ禍の影響でフレイル状態を感じるケースや家庭内での虐待が疑われるケースの相談が増加しました。また、コロナ禍のため、関係者が多く集まる個別の地域ケア会議の開催件数は減少しましたが、必要に応じて関係機関や地域住民との連携を図りながら課題解決に向けた支援を行いました。

相談件数

(単位：件)

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
令和2年度	実件数	71	88	100	122	111	86	89	88	111	103	97	82	1,148
	延件数	119	128	187	227	216	145	150	150	249	218	179	201	2,169
令和元年度	実件数	68	54	90	92	81	66	93	89	91	91	99	86	1,000
	延件数	101	127	149	164	128	102	186	154	179	187	173	169	1,819

#### イ 介護予防ケアマネジメント

要支援1・2の方の介護予防及び日常生活支援を目的として、その心身の状況等に応じて対象者自らの選択に基づき、適切なサービスが実施されるよう援助（相談・ケアプラン作成・サービス調整等）を行いました。本年度は、地域包括支援センターでの担当件数及び居宅介護支援事業所への委託件数は大きく変動はありませんでした。特別措置として、コロナの影響で訪問介護、高齢者デイサービス等の介護保険サービスの利用を控えた方のプラン料も請求できたことが要因と思われます。

#### プラン作成件数

(単位:件数)

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
令和2年度	地域包括	110	121	123	124	118	124	128	122	125	131	128	120	1,474
	居宅介護支援事業所へ委託	194	206	205	206	206	211	215	220	217	207	209	213	2,509
合計		304	327	328	330	324	335	343	342	342	338	337	333	3,983
令和元年度	地域包括	117	114	119	121	121	122	121	130	130	127	125	117	1,464
	居宅介護支援事業所へ委託	220	217	214	215	203	211	208	210	207	210	212	209	2,536
合計		337	331	333	336	324	333	329	340	337	337	337	326	4,000

#### ウ 介護支援専門員（ケアマネジャー）支援

支援困難ケースを抱える介護支援専門員からの相談に随時対応し、必要に応じて協働でケースに関わりました。また、介護支援専門員連絡会やサービス事業所連絡会のサポート役

として、企画・運営に参加しました。介護支援専門員の技量向上（スキルアップ）支援や地域とつなぐパイプ役等を担いました。今年度は、コロナの影響で企画していた研修が軒並み中止となり、開催できませんでした。

#### エ 成年後見相談

成年後見制度の啓発・相談機能の強化のため、予約制で毎月第3金曜日10時から12時に個別相談（2枠、1枠1時間）を実施しました。相談員は、兵庫県社会福祉士会「ばあとなあ兵庫」から派遣され相談件数は13件、主に成年後見制度、申請手続きの方法、財産管理や遺産分割、施設・病院への入所入院関係についての相談でした。また、年2回予定の成年後見制度普及啓発講座を1回実施しました。

#### 成年後見普及啓発講座

開催日：1月30日（土）13：30～15：30
場 所：総合福祉（ゆうあい）センター研修室＋リモート参加
内 容：『成年後見制度と相続』
講 師：代表取締役 米田 貴虎 氏（相続手続支援センター）
参加者：13名（会場参加：4名、リモート参加：9名）

#### ②生活支援体制整備事業

介護保険制度改正により始まった介護予防・日常生活支援総合事業のひとつとして、町の委託を受け、生活支援コーディネーターを配置しました。「いつまでも安心して暮らし続けることができる地域づくり」の実現に向けて、公的機関や地域の多様な機関・団体と連携し、ネットワークづくりや住民同士の支えあいの活動支援、構築を目指す事業です。

本年度は新型コロナウイルスの影響が大きく、地域での居場所づくりを目的とした活動は自粛せざるを得ない状況となりました。予定していた生活支援サポーター養成講座及びフォローアップ研修も中止となっています。

計画していた事業が中止となる状況でしたが、他市のコロナ禍での活動状況等の情報収集、町との協議を行いながら体操教室やサロンに参加している方へ介護予防のメニューを掲載したチラシやお手紙を配布、体操教室については再開に向けて消毒液等を配布するなどの取組を行いました。また、新型コロナウイルス感染予防に関する情報なども随時提供するよう努めました。

#### ③認知症高齢者見守り事業

『やすらぎ支援員』（認知症の基礎知識・接遇研修受講者）が、認知症高齢者の自宅を訪問し、見守りや話し相手を通じて『なじみの関係』を作ることで、その方の心身の安定を図り、すこやかな在宅（住み慣れた地域で）生活が送れるように支援するとともに、認知症高齢者を介護する家族の介護負担軽減を図ることを目的として実施しました。本年度は、新型コロナウイルスの影響が大きく、話し相手が大きな支援内容ということもあり、ほとんどが中止となりました。

#### 利用実績

	利用者数	利用延べ時間
令和2年度	1名	3時間
令和元年度	3名	54時間

#### ④家族介護支援事業

##### ア 認知症サポーター養成講座

認知症への正しい理解、認知症の方やその家族を温かく見守る応援者（認知症サポーター）を増やし、認知症になっても安心して暮らせるまちを地域住民の手でつくることを目指す、全国的な取り組みです。本年度は、認知症サポーター養成講座は7回開催し、399名の認知症サポーターを養成しましたが、コロナ禍の影響で地域活動が縮小してしまったこともあり、行方不明者発見・捜索訓練は実施できませんでした。また、例年依頼があったイオンモール猪名川の従業員向けの養成講座も自粛、健康福祉まつりも中止となったため予定していた啓発活動はできませんでした。そんな中、猪名川郵便局職員向け講座、猪名川小学校5年生など、新規での依頼もあり、今後につながるものとなりました。全小中学校での講座開催を目標にしており、残すところあと2校となりました。

	開催回数（回）	サポーター数（名）
令和2年度	7	399
令和元年度	22	652
平成30年度	21	654
平成20年度～累計	162	4,266

##### イ 家族介護教室

家族や地域住民等の援助者を対象に、介護方法、介護予防、健康づくり等の知識及び技術の習得を目的に開催しました。本年度は、認知症サポーターやキャラバン・メイト、ケアマネジャーのステップアップ研修として参加を呼びかけました。

開催日：10月25日（日）13:00～16:30

場 所：猪名川町イナホール（小ホール）

内 容：『認知症予防フォーラム～備える・つきあう・助ける～』

認知症予防のための講演、認知症予防に関する栄養講座、脳の健康教室PRなど

講 師：大阪大学大学院教授 竹屋 泰 氏

参加者：53名

##### ウ オレンジCafe（認知症カフェ）開設

認知症の方とその家族、地域住民、専門職などが気軽に参加できる場所とし、介護の相談のきっかけや地域とのつながり作りを行いました。

6回開催（日生中央サピエ6回）し、認知症当事者や介護者の参加も含め、延べ144名が参加されました。誰もが気軽に参加できるよう、毎回ワークショップを同時開催、また今年

度は傾聴ボランティアみみい〜など協同開催をしました。

#### ⑤地域介護予防活動支援事業

##### ア 脳の健康教室モデル及び自主教室運営支援

平成 29 年度より認知症予防・集いの場の確保・ボランティア活動の場の提供を目的として、「脳の健康教室」を実施しました。本年度はふらっと六瀬教室（ふらっと楽楽教室）も自主グループとなり、町内に 3 か所での自主グループの運営が始まり、その支援を行いました。昨年同様、日生中央教室（脳トレサロン）、中央公民館教室（楽習サロン“いきいき”）ふらっと六瀬教室（ふらっと楽楽教室）には、公文教材費の現物支給、会場の提供、運営に関するアドバイス等の支援を行いました。

##### イ 脳の健康教室サポーター養成講座

平成 29 年度から開始し、今回 4 期目開催となる「脳の健康教室」サポーター養成講座を実施しました。1 日目は motto ひょうごの栗木 剛氏による「傾聴コミュニケーションについて」と題し、コミュニケーションについての講義を行いました。2 日目に公文学習療法センターによるサポーターの実際を学び、3 日目は楽習（学習）のロールプレイなど、実践に沿った形での講座を行いました。参加者 12 名が新たにサポーターとなり、それぞれ希望された自主教室に登録し、活動しました。

##### ウ 健康長寿体操教室運営支援

平成 26 年 10 月より、健康寿命を延ばすために、身近な地域にて体操教室が展開されています。現在 18 教室が立ち上がっており、新型コロナの感染対策を行いながら教室実施に努めましたが、新型コロナの影響で一定期間、教室開催を自粛されたり、感染予防のため年間を通じて実施できない教室がありました。なお、新規教室はありませんでした。3 月には自主教室を運営している代表に対し、助成金説明会を行いました。

##### 健康長寿体操教室一覧

	教室名		教室名
1	若葉いきいき体操教室セカンド	10	北田原すみれ倶楽部体操教室（自粛）
2	旭ヶ丘健康体操クラブ	11	あこやクラブ健康体操部会
3	いきいき体操松尾台教室	12	つつじが丘健やか体操
4	伏見台チェアトレーニング教室	13	猪名川荘苑健康長寿体操教室
5	パークタウン東体操教室	14	やないづ健勝会健康体操教室
6	猪名川台ちょこっと体操	15	柏原老人クラブ健康体操教室
7	東山いきいき元気倶楽部	16	ふらっと体操教室
8	清水健康体操教室	17	広根健康長寿体操教室
9	若葉いきいき体操教室ファースト	18	西畑体操教室

##### エ ふれあい・いきいきサロン開設・継続支援

地域の方が支え合い、いつまでもいきいきと安心して暮らせるよう、地域の住民が主体と

なり身近な場所で交流を深める居場所づくりを立ち上げるための支援を行います。本年度は助成金対象要件を一部緩和しましたが、新型コロナウイルスの影響もあり新たにサロンを開設されたのは西畑地区の一カ所のみでした。すでに開設されているサロンについては、自粛するところが多く、継続支援の申請はありませんでした。活動が難しい状況ではありましたが、自粛中でも運営者の方に向けてサロンに来られていた方に配布できるよう、介護予防メニューのチラシを作成し提供しました。また、サロンに参加されていた方から再開を要望する声があると運営者からも相談を受けることがあり、再開に向けての対応について支援を行いました。

#### ふれあい・いきいきサロン開設状況

	サロン名	地域名
1	ほっとサロン	猪名川荘苑
2	わ（話・和・輪・環・把・羽）の会	広根ニューハイツ
3	若葉活き活きサロン「スマイル」	若葉
4	にこにこサロン	旭ヶ丘
5	サロン島村	島
6	伏見台自治会サロン「いっぷく亭」	伏見台
7	えんがわ CAFE	松尾台
8	白金いきいきサロン	白金
9	猪名川台あそぼう会	猪名川台
10	すこやかサロン	つつじが丘
11	清水ふれあいサロン	清水
12	伏見台いこいの広場	伏見台
13	杉生いきいきサロン	杉生
14	ハートフルサロン	仁頂寺・川向
15	西畑サロン	西畑

#### ⑥認知症初期集中支援促進事業

認知症の方やその家族に対し、早期に関わる体制の構築、支援強化に努めました。看護師、保健師、主任介護支援専門員等が短期集中で当事者への相談支援に関わり、支援チーム員（認知症サポート医、作業療法士、主任介護支援専門員、看護師、保健師）と町福祉課職員で、年間4回のチーム員会議を開催しました。新規2件、終了5件、モニタリング中1件という結果です。尚、5月、1月のチーム員会議は、新型コロナウイルス感染拡大防止対応のため中止しました。

【最終引継ぎ先】	件数（件）
ケアマネと介護保険制度の利用	3



見守り中、かかりつけ医と連携	1
介護保険未申請	0
入院	2

⑦介護予防普及啓発事業

平成 29 年度より、食を通じた介護予防と健康寿命延伸の啓発活動に取り組んでいます。「すこやか食生活講座」と題して広報を行い、老人会や地域のサロン等にて、講話に加えて試食会または食事会を実施していましたが、令和 2 年度は新型コロナの影響で集うことや飲食を伴う講座が自粛となり、実施できませんでした（令和元年度は 9 地区、14 回、延べ 166 名）。

外部講師による講演会（令和元年度は計 3 回、162 名）。

日付	講演会	講師	開催場所	参加人数
12 月 13 日 (日)	健康づくり講演会	川口芳幸氏 (川西市薬剤師会)	日生公民館	18

個別等での相談活動や食事指導（令和元年度は 178 件、242 名）

指導・相談形態	件数 (件)	対象人数 (名)
家庭訪問指導	28	28
個別相談	12	12
集団指導（うち出前講座）	3 (2)	46 (35)
デイサービスにおける食事形態個別対応	165	165
計	208	251

(4) 地域ふれあい事業

①ふれあいの場運営事業

町の補助・支援を得る中、地域の高齢者が孤立することなく、安心して暮らし、世代を超えた地域の交流の場づくりを進める上で、地域住民のつながりの再構築の一助となることを目的として、「ふれあいの場」運営補助事業を平成 16 年度より実施し、本年度は、若葉自治会より申請があり、運営助成を行いました。新型コロナウイルス感染拡大に伴う緊急事態宣言等により休止、例年のイベント縮小などを余儀なくされる中、感染予防対策を図り事業運営を実施しましたが、利用実績としては大きく減少となりました。

利用実績

	開所日数 (日)	延べ利用数 (名)	子供利用 (名)	高齢者利用 (名)	その他 (名)
--	----------	-----------	----------	-----------	---------

令和2年度	193	887	200	687	0
令和元年度	253	3,633	2,389	1,244	0

## ②高齢者スポーツ助成事業・文化活動助成事業

町内の高齢者のふれあいと健康促進を目的として、町老人クラブ連合会主催の「グラウンドゴルフ大会」（令和2年10月14日開催、参加者約180名）の運営補助を行いました。文化活動「演芸発表会」（令和2年2月7日開催、参加者約200名）については新型コロナウイルス感染防止の取組として同連合会において開催中止の判断があり本年度の運営助成を行えませんでした。（本事業は、赤い羽根共同募金配分金により実施しています）

## 7 福祉学習（教育）啓発活動

### 福祉教育活動事業

#### ①福祉教育協力校の指定（町内小学校6校・中学校3校の指定）

地域住民の福祉活動への理解と関心を深めるため、幼少期から高齢期に至るまで生涯を通じて幅広く福祉教育・学習の機会を提供し、体験・交流活動などを推進することを目的とし、助成金を交付しました。

各学校規模に応じ福祉講演会・校区内の高齢者との交流・高齢者疑似体験や車いす体験などの福祉体験を積極的に取り組まれました。

（共同募金の地域配分金を活用しています）

#### ②福祉教材の貸出

福祉教育の推奨を目的に、福祉学習に使用できる物品の貸出を行いました。福祉学習では、高齢者疑似体験や車いす体験・視覚障がい者疑似体験学習時に使用する物品・点字板・障がい者スポーツ サウンドボールなどの貸出を行いました。

#### ③学校・地域等での福祉講演会・体験学習の講師紹介等

「点字学習」「聴覚障がいの学習」については点訳ボランティア「てんてまり」・手話サークル「マジック」の協力を得て実施しました。新型コロナウイルスの影響もありましたが、逆に外部の活動ができない分、学校内で行える、認知症サポーター養成講座や高齢者疑似体験・車いす体験の依頼される学校もありました。

#### 福祉体験学習・講演会等の開催

学校名	開催月	内 容	講 師	対象者	人数
小 猪 学 名 校 川	9月	認知症キッズサポーター養成講座	キャラバンメイト (9名)	5年生	50人
	10月	福祉講演会 介助犬について講話	木村 佳友氏	5・6年生	107名
	11月	点字の体験とお話	点訳ボランティア 「てんてまり」(8名)	4年生	67名

	12月	車いす・アイマスク体験	社協職員 地域支援ボランティア (5名)	4年生	67名
	2月	聴覚障がいについてのお話と手話体験	手話サークル 「マジック」(8名)	2・3年生	102名
楊津小学校	10月	福祉講演会 (車いすバスケット体験・お話)	大内 秀之氏	全校生徒	60名
		認知症キッズサポーター養成講座	キャラバンメイト (10名)	4年生	8名
		聴覚障がいについてのお話と手話体験	手話サークル 「マジック」(3名)	4年生	8名
	11月	点字の体験とお話	点訳ボランティア 「てんてまり」(2名)	4年生	8名
	11月	①総合福祉(ゆうあい)センターの見学 ②すばる利用者との交流 ③車いす・高齢者疑似体験	社協職員 地域支援ボランティア (2名)	4年生	8名
大島小学校	11月	福祉講演会 (車いすバスケット体験・お話)	大内 秀之氏	全校生徒	44名
	12月	点字の体験とお話	点訳ボランティア 「てんてまり」(4名)	5年生	13名
		車いす・アイマスク体験	社協職員 地域支援ボランティア (3名)	5年生	13名
小学校 松尾台	10月	点字の体験とお話	点訳ボランティア 「てんてまり」(7名)	4年生	42名
	2月	聴覚障がいについてのお話と手話についての学習	手話サークル 「マジック」(4名)	2年	41名
白金小学校	10月	福祉講演会 視覚障がい者・ブラインドサッカー体験	齊藤 晃司氏	4年生	88名
		点字の体験とお話	点訳ボランティア 「てんてまり」(7名)	4年生	88名
		聴覚障がいについてのお話と手話体験	手話サークル 「マジック」(4名)	4年生	88名
	11月	認知症サポーター養成講座	キャラバンメイト(15名)	4年生	88名
	12月	高齢者疑似体験	職員 地域支援ボランティア	4年生	88名

			ア (8名)		
		聴覚障がいについてのお話と手話(ジェスチャー)体験	手話サークル「マジック」(2名)	2年生	88名
つつじが丘小学校	10月	認知症サポーター養成講座	キャラバンメイト(10名)	4年生	110名
		車いす体験	社協職員 地域支援ボランティア(12名)	4年生	110名
	11月	点字の体験とお話	点訳ボランティア「てんてまり」(8名)	4年生	110名
		高齢者疑似体験	社協職員 地域支援ボランティア(11名)	4年生	110名
中学校 中谷	9月	認知症サポーター養成講座	キャラバンメイト(10名)	1年生	63名
猪名川高校	7月	認知症サポーター養成講座	キャラバンメイト(10名)	教育コミュニケーション類型3年生・分教室1~3年生	29名
	10月	聴覚障がいについてのお話と手話体験	手話サークル「マジック」(4名)		38名
延べ利用人数				1,736名 (166名)	

※ ( ) 人数は、活動したボランティアの人数

### ① 出前講座の実施

地域や学校と“顔の見える関係づくり”を構築し、それぞれのニーズに応じた福祉学習を支援し、福祉に関する関心を高めることを目的に、出前講座を地域包括支援センターが中心に行いました。例年、地域の老人会、福祉委員会等で開催し、加えて地域の事業所専門職員等と地域住民の会う場づくりを目的に、町内外事業所に出前講座講師登録の依頼を行いますが、本年度は軒並みコロナ禍の影響で地域活動が停止したため、ご依頼は例年に比べると少数となり全体で3件となりました。

出前講座開催実績

	開催日	テーマ	参加者数	主催団体/開催場所	講師 地域事業所 /専門職員
1	6月4日(木)	脳トレ	13名	杉生老人クラブ 杉生自治会館	地域包括支援センター
2	6月17日(水)	SOS ネットワークについて	19名	民児協交流会 社会福社会館大ホール	福祉課・地域包括支援センター
3	9月1日(火)	介護保険制度と高齢者施設	54名	民児協定例会 社会福社会館大ホール	地域包括支援センター
合計			延べ86名/2団体/全3回 (令和元年度 延べ539名/19団体/全31回)		地域包括3回 役場1回

#### ④ 福祉学習を考える集いの開催

学校や地域での福祉学習では、自ら学び考える「生きる力」を育むことを目的に様々な形で実践され、基本的な考え方や、学校や地域で身近にできる福祉学習の取り組み方を学び、猪名川町の福祉学習がより充実したものとなることを目的に例年実施していますが、新型コロナウイルスの影響により夏休み期間の短縮となり、実施を見合わせました。

#### ⑥ トライやるウィークへの協力

兵庫県教育委員会では、県下の公立中学校2年生全員が、地域社会で体験活動を行う週間を設定し、学校・家庭・地域社会が一体となり体験活動を通して、中学生の心の教育を図る目的で、平成10年度より「地域に学ぶトライやる・ウィーク」が実施されています。今年度は、受け入れ依頼があり、協力予定であったが、新型コロナウイルスの影響により中止となりました。

## 8 調査・情報活動

### 啓発・情報活動事業

社会福祉協議会の役割や活動を周知し、福祉活動への参加を促進するため、地域住民やボランティアと一体となった福祉啓発イベントの運営や社協だより、ホームページ掲載内容の充実に努め、タイムリーな情報提供等、福祉情報について広報活動に取り組みました。

#### ① 社協だよりの発行

機関紙である「社協だより」を5月、8月、10月、1月の年4回（1回12,000部）発行し、全世帯に配布しました。掲載内容の充実と、読みやすい紙面への工夫を行いました。

（共同募金の地域配分金を活用しています）

#### ② ホームページの充実

ホームページにて福祉情報の発信や社協活動のPRに努めました。特に社協開催の講座の周知を図り、受講者の増加に努めました。

### ③町広報との連携

講座等の案内は、町広報とも連携し、毎月数件の情報を「広報いながわ」へ掲載しています。また、「いなぼうネット」での案内も実施しました。

### ④社協リーフレット・パンフレット作成

各事業等にて講座等のチラシを作成するとともに、社協会費のリーフレットを作成し、社協事業等の案内を行いました。作成したチラシ等は、ホームページでアップするとともに、「ふれあい伝言板」（役場、図書館、ふらっと六瀬、日生連絡所に設置）にて福祉情報の発信や社協活動のPRに努めました。

### ⑤健康福祉まつりでの啓発活動

「だれもが健康で、安心して暮らせる地域社会」をめざして、住民相互の理解と交流を深め、地域福祉の担い手である住民の方々に地域や社会に参加してもらうきっかけづくりになることを目的として、例年「健康福祉まつり」に参加してきましたが、本年度は新型コロナウイルスの影響によりイベント自体が中止となったため啓発活動は行えませんでした。

（共同募金の地域配分金を活用しています）

## 9 組織基盤づくり活動

### (1) 組織・基盤づくり活動事業

社会福祉法等の関係法令を遵守し、地域から信頼され、事業運営の透明性を確保しながら、より適正で効率的な法人運営に取り組みました。しかし、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、一部会議等の開催は控え、書面等による審議・議決となりました。

#### ①定款・諸規程等の整備・改廃

本年度における理事会及び評議員会の開催、諸規程等の制定及び一部改正議案については、本報告書「12 諸会議」を参照。

#### ②地域福祉推進計画の策定と評価

令和2年度～6年度までの5ヶ年に亘る第7次猪名川町地域福祉推進計画について1年目の各事業の評価、現状と課題（評価）及び次年度の目標について評価委員会を開催しました。

#### ③猪名川町社協職員災害時行動の手引きに基づく研修・訓練

職員の入退職ごとに災害時連絡網の更新を実施し、年2回、緊急連絡伝達訓練を実施しました。

#### ④役員・職員研修の充実

サービスの質の向上を目的として派遣研修、事業所内研修等を織り交ぜながら実施しました。職員全体研修では、第7次猪名川町地域福祉推進計画について学び、横のつながりを深めるため意見交換会を開催、併せて接遇マナー研修など計4回実施。常勤職員に初めて研修参加を義務付けた形式で行いました。（令和元年度計4回実施）各事業所においても専門性の向上を目指し、各種外部研修へ参加、フィードバックを行いました。

### (2) 自主財源促進活動事業

社協会員の増強

地域福祉の充実と社協基盤の確立を図るための財源となり、各自治会を通じ啓発を行い会員の加入促進に努めました。本年度は、新型コロナウイルス感染拡大に伴い町内事業所に対する賛助、団体会員の募集は自粛したことにより昨年度より会員数及び会費実績が大幅に減少しました。

会員会費の納入状況（決算書 P3 会費収入）

（単位：円）

会員の種類	会費額	令和2年度		令和元年度	
		金額	摘要	金額	摘要
一般会員	500	2,351,889	47 自治会	2,398,360	49 自治会
賛助会員	5,000	15,000	2 事業所	230,000	42 事業所
団体会員	5,000	0	0 団体	10,000	2 団体
計		2,366,889		2,638,360	

### （3）共同募金運動への協力事業

#### ①赤い羽根共同募金活動

兵庫県共同募金会猪名川町共同募金委員会として募金活動を実施しました。本年度は、住民の方に地域福祉活動を知っていただくため、きっかけづくりを重視した活動を町全体の取組みとしました。町内自治会、学校、法人、民生委員・児童委員、猪名川町職員、福祉団体等の多くの方々の協力を得ることができました。しかし、募金活動では、新型コロナウイルス感染拡大防止の取組として街頭募金活動を自粛しました。

また、1月から3月を期間拡大募金と位置付け、募金箱の設置での募金啓発活動を実施しました。

募金実績（期間拡大募金実績含む）

	目標額（円）	実績額（円）	達成率
令和2年度	2,745,000	1,677,349	61.1%
令和元年度	2,322,000	2,097,811	90.3%

募金別実績額（期間拡大募金実績含む）

（単位：円）

募金方法	金額	募金方法	金額
戸別募金	1,233,768	学校募金	111,004
街頭募金	0	イベント募金	3,399
法人募金	37,820	その他（募金箱）	6,841
職域募金	284,517	-	-
合計			1,677,349

#### ②歳末たすけあい運動の実施

新たな年を迎える時期に、支援を必要とする方々が地域で安心して暮らすことができる一助として、「つながる ささえあう みんなの地域づくり」のスローガンのもと12月1日から12月31日の間、運動に協力しました。

募金活動においては、新型コロナウイルス感染拡大防止の取組として街頭募金活動を自粛しました。また、新たな配分先として新型コロナウイルス特例貸付対象者の一部といながわ子供の家入居者へのお年玉としての見舞金を配分しました。

#### 募金実績

(単位：円)

NO	区分	金額	備考
1	戸別募金	662,669	
2	街頭募金	0	
3	募金箱	5,164	
4	預金利子	0	
5	前年度繰越金	305,583	
合計		973,416	

#### 配分内訳

(単位：円・件)

NO	配分先	配分金額	見舞金	件数	備考
1	生活困窮世帯	120,000	20,000	6	相談支援等より
2	新型コロナウイルス特例貸付対象者	290,000	10,000	29	生活福祉資金担当より
3	いながわ子供の家	210,000	10,000 5,000	10 22	施設払出申請
4	繰出金	10,000	0	0	歳末募金事務費へ繰出
5	次年度繰越金	343,416	0	0	
合計		973,416		67	

#### (4) 善意銀行の運営事業

住民や団体等から福祉向上のため預託される金品・物品等貴重な浄財を、必要な人々や団体の福祉活動に役立てるよう運用を行いました。

##### ① 運営委員会による適正な運営

運営委員会を開催し、善意銀行の適正な運用について協議・報告を行いました。本年度は、いながわ子供の家を退所する児童に対して進学・就労の支度準備金として、運営委員会において承認を得て払出を行いました。

##### ② 金銭・物品の預託と払出（決算書 P32 寄付金収入/P35 一般・指定払出支出）



種類	預託内容	金額等	備考	払出内容	金額等	備考
金銭	一般	493,289円	19件	一般	790,600円	・摂丹地区里親会 ・ひょうご子ども家庭福祉財団 ・特定非営利活動法人フードバンク関西 ・緊急払出し4件 ・災害見舞金2件 ・地域居場所づくり応援助成3件 ・いながわ子供の家
	指定	550,000円	1件	指定	555,000円	・猪名川町社会福祉協議会への指定2件
	合計	1,043,289円		合計	1,345,600円	
物品	福祉用具	4件	・車いす3台 ・ポータブルトイレ ・シャワーチェア	福祉用具	5件	町内福祉施設などへ払出し
	その他	25件	・米(30kg×4) ・衣類、オムツ類 ・ふきとり布 ・日用品、手芸用品	福祉用品、その他	19件	
	合計	29件		合計	24件	

### ③地域の居場所づくり応援支援助成

地域で誰もが自由に集える居場所、サロンを運営する団体に対して善意銀行から運営助成を行うもので、申請のあった3団体に対して助成金(1団体につき20,000円)の交付を実施しました。

#### 助成実績

団体名	
1	ほっとサロン(猪名川荘苑)
2	わの会(広根ニューハイツ)
3	猪名川台あそぼう会(猪名川台)

## 10 団体支援活動

### 福祉団体の支援事業

福祉関係団体の自主的活動に向けて、事務局として各当事者団体の活性化と活動の充実に向け団体活動の継続的支援に取り組ましました。

- ①民生委員児童委員協議会      ②老人クラブ連合会      ③遺族会
- ④身体障害者福祉会      ⑤身体障害者父母の会      ⑥手をつなぐ育成会
- ⑦こころ猪名川家族会

## 1 1 町指定管理事業

### 猪名川町総合福祉センターの管理・運営事業

総合福祉センターでは、高齢者等の生きがい・健康活動の場として、広く利用の促進を図りました。また、町から総合福祉センターの指定管理者の指定を受け、同センターの施設利用や維持管理の業務を行いました。本年度、新型コロナウイルス感染拡大防止対応のため4月1日から5月31日、1月14日から3月7日の間、センター利用の一部休止等の措置や浴槽タイル修繕に伴う休止により昨年度利用実績を大きく下回りました。

#### ①利用状況一覧表

(単位：件・人)

		一般浴室	室内プール	教養 娯楽室	研修室	ドーム	合計
令和 2年度	件数	19,106	4,748	481	238	1,128	25,701
	人数	19,106	4,748	2,817	2,668	8,750	38,089
令和 元年度	件数	45,059	4,877	442	235	1,293	51,906
	人数	45,059	4,877	4,853	3,515	10,012	68,316

※令和2年3月9日～5月31日 新型コロナウイルス感染防止で休館

※ 〃 7月29日～8月16日 泡風呂修繕のため休止

※令和3年1月14日～3月7日 新型コロナウイルス感染防止で一般浴室休止

#### ②施設修繕一覧表 (決算書 P69 修繕費支出)

(単位：円)

実施時期	修繕工事内容	金額
4月	一般浴室排気ファンVベルト取替作業	19,800
6月	厨房内スチームコンベクション修理	93,500
	一般浴室排気ファン取替工事	220,000
7月	福祉センター正面玄関舗装・池埋立工事	1,738,000
8月	一般浴室(泡風呂)浴槽内タイル修繕	491,150
9月	地下3階出入口電動シャッター緊急修繕(制御盤・開閉器更新)	429,000
	プール内鍵交換修理	8,910
	還水槽ボールタップ、定水弁内部ピストン更新工事	55,550
10月	空冷ヒートポンプチラー部品交換	75,790
	湧水槽排水ポンプ(3台)更新工事	627,000
	一般浴室(泡風呂)薬注ポンプ更新工事	481,580

実施時期	修繕工事内容	金額
11月	厨房内給湯器修理（中和機交換）	21,450
	地下1階トイレ改修・プール更衣室前カーテン設置工事	636,240
	厨房内食器乾燥機修理	30,250
12月	福祉センター2階廊下絵画設置工事	66,550
	福祉センター2階トイレ換気扇改修工事	74,690
	福祉センター2階浴室内タイル修繕工事	191,730
	プール男子更衣室内トイレ扉修繕	11,000
1月	消防設備点検不具合改修工事	792,000
	福祉センター2階浴室内天井照明器具更新工事	985,600
	機械室内給湯管漏水箇所応急処置工事	242,000
	プール還水槽補修工事	181,500
2月	福祉センター内道路・駐車場区画線設置補修工事	517,000
	福祉センター自然排煙窓点検作業・調査	319,000
	消火補給水槽給水管破損緊急修理	66,000
	ドーム前埋設配管污水漏水調査	20,000
	ドーム前埋設配管污水管詰まり緊急洗浄	99,000
	厨房内ガステーブル修理	188,573
	プール女子トイレドアハンドル交換	37,730
3月	一般浴室（岩・泡風呂）脱衣室内ロッカー扉・カギ修繕	131,857
	福祉センター地下駐車場天井補修工事	128,700
	プール内ドアハンドル交換	34,320
	一般浴室泡風呂浴槽タイル緊急補修	71,500
	厨房内食器洗浄機緊急修理	23,100
計		9,110,070

## 1.2 諸会議

以下、法人運営に係る諸会議について報告します。

### ①理事会開催状況

（理事定数9名以内）

年月日	会議名	場 所	内 容	
R2.4.30	理事会 (1回)	理事会開催の決議 の省略(一般社団 法人及び一般社団 法人に関する法律 第96条)	議案第1号	社会福祉法人猪名川町社会福祉協議 会評議員の推薦候補者について
			議案第2号	社会福祉法人猪名川町社会福祉協議 会理事候補者について
			議案第3号	令和2年度第1回評議員会の招集日 時、場所、議題等について
			採決状況	第1号～第3号すべて議決
R2.6.8	理事会 (2回)	総合福祉センター	議案第4号	令和元年度社会福祉法人猪名川町社 会福祉協議会事業報告について
			議案第5号	令和元年度社会福祉法人猪名川町社 会福祉協議会収入支出決算について
			議案第6号	令和2年度第2回評議員会の招集日 時、場所、議題等について
			出席状況	理事7名 監事1名

年月日	会議名	場 所	内 容	
			採 決 状 況	第 4 号～第 6 号すべて議決
R2. 6. 15	理事会 (3 回)	理事会開催の決議 の省略(一般社団 法人及び一般社団 法人に関する法律 第 96 条)	議案第 7 号 議案第 8 号 採 決 状 況	猪名川町社会福祉協議会評議員の推 薦候補者について 社会福祉法人猪名川町社会福祉協議 会理事の候補者について 第 7～8 号すべて議決
R2. 9. 25	理事会 (4 回)	総合福祉センター	議案第 9 号 議案第 10 号 議案第 11 号 出 席 状 況 採 決 状 況	社会福祉法人猪名川町社会福祉協議 会評議員の推薦候補者について 社会福祉法人猪名川町社会福祉協議 会ボランティア活動育成助成金交付 要綱の全部改正について 社会福祉法人猪名川町社会福祉協議 会福祉教育推進事業実施要綱の全部 改正について 理事 8 名 監事 2 名 第 9 号～第 11 号すべて議決
R3. 2. 3	理事会 (5 回)	総合福祉センター	議案第 12 号 議案第 13 号 議案第 14 号 議案第 15 号 議案第 16 号 出 席 状 況 採 決 状 況	社会福祉法人猪名川町社会福祉協議 会補正予算 (第 1 号) について 社会福祉法人猪名川町社会福祉協議 会育児・介護休業等に関する規程の一 部改正について 社会福祉法人猪名川町社会福祉協議 会嘱託職員の雇用に関する要綱の一 部改正について 社会福祉法人猪名川町社会福祉協議 会臨時職員の雇用に関する要綱の一 部改正について 令和 2 年度第 3 回評議員会の招集日 時、場所、議題等について 理事 9 名 監事 1 名 第 12 号～第 16 号すべて議決
R3. 3. 23	理事会 (6 回)	総合福祉センター	議案第 17 号 議案第 18 号 議案第 19 号 議案第 20 号 議案第 21 号 議案第 22 号 出 席 状 況 採 決 状 況	令和 2 年度社会福祉法人猪名川町社 会福祉協議会補正予算 (第 2 号) につ いて 令和 3 年度社会福祉法人猪名川町社 会福祉協議会事業計画について 令和 3 年度社会福祉法人猪名川町社 会福祉協議会収入支出予算について 社会福祉法人猪名川町社会福祉協議 会職員給与規程の一部改正について 猪名川町地域包括支援センター(指定 介護予防支援・介護予防ケアマネジメ ント事業) 運営規程の一部改正につ いて 社会福祉法人猪名川町社会福祉協議 会役員等賠償責任保険契約について 理事 9 名 監事 2 名 第 17 号～第 22 号すべて議決

## ②監事会開催状況

(監事定数 2 名以内)

年月日	会議名	場 所	内 容
R2. 6. 1	監査	総合福祉センター	令和元年度事業報告・収入支出決算監査 監事 2 名出席

## ③評議員会開催状況

(評議員定数 17 名以内)

年月日	会議名	場 所	内 容
R2. 5. 13	評議員会 (1 回)	理事会開催の決議の省略(一般社団法人及び一般社団法人に関する法律第 96 条)	議案第 1 号 採 決 状 況 社会福祉法人猪名川町社会福祉協議会理事の選任について 第 1 号議決
R2. 6. 23	評議員会 (2 回)	総合福祉センター	議案第 2 号 議案第 3 号 議案第 4 号 出席 状 況 採 決 状 況 令和元年度社会福祉法人猪名川町社会福祉協議会事業報告について 令和元年度社会福祉法人猪名川町社会福祉協議会収入支出決算について 社会福祉法人猪名川町社会福祉協議会理事の選任について 評議員 14 名 理事 3 名 監事 1 名 第 2 号～第 4 号すべて議決
R3. 2. 10	評議員会 (3 回)	総合福祉センター	議案第 5 号 出席 状 況 採 決 状 況 令和 2 年度社会福祉法人猪名川町社会福祉協議会補正予算(第 1 号)について 評議員 17 名 理事 3 名 監事 1 名 第 5 号議決
R3. 3. 30	評議員会 (4 回)	総合福祉センター	議案第 6 号 議案第 6 号 議案第 7 号 議案第 8 号 出席 状 況 採 決 状 況 令和 3 年度社会福祉法人猪名川町社会福祉協議会事業計画について 社会福祉法人猪名川町社会福祉協議会補正予算(第 2 号)について 令和 3 年度社会福祉法人猪名川町社会福祉協議会事業計画について 社会福祉法人猪名川町社会福祉協議会収入支出予算について 評議員 15 名 理事 3 名 監事 1 名 第 6 号～第 8 号すべて議決

## ④評議員選任・解任委員会

(委員定数 5 名)

年月日	会議名	場 所	内 容
R2. 5. 26	委員会 (1 回)	総合福祉センター	議案第 1 号 出席 状 況 社会福祉法人猪名川町社会福祉協議会評議員推薦候補者の選任について 委員 5 名

			採決状況	第1号議決
R2.10.22	委員会 (2回)	総合福祉センター	議案第2号  出席状況 採決状況	社会福祉法人猪名川町社会福祉協議会評議員推薦候補者の選任について 委員5名 第2号議決

### Ⅲ 役員の状況

社会福祉法人猪名川町社会福祉協議会役員の状況 (令和3年3月31日現在)

#### ① 理事 (定員7名以上9名以内)

(任期 令和元年6月20日～令和2年度に関する定時評議員会の終結時まで)

※順不同

会長	鍋谷	將
副会長	村山	興治
理事	亀川	公昭
〃	坂田	哲啓
〃	安藤	邦美
〃	喜多	護
〃	北上	倫聖
〃	大西	崇
常務理事	飯田	勝美

② 監事（定員 2 名以内）

（任期 令和元年 6 月 20 日～令和 2 年度に関する定時評議員会の終結時まで）

監事	家門	正幸
監事	今村	恵子

③ 評議員（定員 14 名以上 17 名以内）

（任期 平成 29 年 4 月 1 日から選任後 4 年以内の終了する会計年度のうち最終のものに関する定時評議員会の終結まで）

※順不同

評議員	吉村	勝	評議員	福本	道子
〃	宮本	浜子	〃	太田	はるよ
〃	北中	昭夫	〃	谷口	稔
〃	戸田	絹代	〃	鈴木	裕治
〃	吉尾	一夫	〃	真田	保典
〃	高岡	美津子	〃	伊藤	茂子
〃	安達	隆	〃	板橋	汎子
〃	今泉	友幸	〃	関口	捷子
〃	石井	誠			